

数学甲子園本選出場 体験記

◇日 時 平成 30 年 9 月 16 日 (日)

◇場 所 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ソラシティホール(東京都)

◇参加者 SS 数学部 3 年生 5 名

◇引率者 宮本尚啓教諭

2018 年で 11 回目を迎える「数学甲子園」全国数学選手権大会は、全国の中学生・高校生・高専生の 3～5 人のチームが数学力を競い合い、数学日本一を決めるものだ。単に数学の問題を解くだけではなく、自分たちで創作した問題についてプレゼンテーションを行うなど、競技を通して、「数学力」「創作力」「問題解決力」「チームワーク力」「プレゼンテーション力」が求められる。



我々「五十里組・いい感じチーム」は 3 年生 5 人のチームであり、7 月 29 日・8 月 31 日の予選を突破し本選に進出した。本選には全国 2425 人 610 チームから予選を勝ち抜いた 31 校 36 チーム 159 人が集まった。

第一競技「Math battle」では、チームで協力し数学の問題 18 問を 60 分で解答した。大変難しい問題が揃っていたが、チーム内で相談し共に考えることで答えを導き出すことができた。60 分が本当に短く感じられた。

第二競技「Math live」では、第一競技の得点及び事前競技で作成した問題のレベルが高かった 6 チームと敗者復活で勝ち上がった 1 チームが、作成した問題についてプレゼンを行った。残念ながら我々は Math live には勝ち残れなかったが、プレゼンされた問題はどれも良問であり、大変感心した。あるチームが作成した「正方形の折り紙を 1 回折った時にある事象が起きる確率」の問題には、会場から「正方形の折り紙を 1 回折る際、その折り線の決め方は無限通りあるため、折り線の定め方により求める確率が変わってしまうのではないか」という質問が出たが、確率論の本質を突いた大変鋭い質問だと思った。



イベントとして、松浦昭洋氏によるジャグリングが披露された。「投げないジャグリング」と題して、数学や物理を応用した斬新なジャグリングを見ることができた。

本大会に出場したことで、数学の重要性、応用の広さ、そして面白さを再認識できた。大学に行ってもこの思いを大切に頑張っていきたい。

参考 数学甲子園 2018 公式ホームページ <https://www.su-gaku.net/events/koshien/>